



社会との真摯なコミュニケーション

情報を迅速に公開するとともに、皆さまとのコミュニケーション活動を積極的に推進します。

2016年度の主な取り組み内容

- ▶ **コミュニケーション活動の推進** P82
 - 当社に対するご意見をお聴きするとともに、当社の企業活動をお伝えするため、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション活動を実施しました。
- ▶ **情報公開の徹底** P83
 - ヒューマンエラーによる供給支障事故など、当社のマイナス情報についても、迅速・適確な情報公開に努めました。
- ▶ **積極的な情報発信** P84~86
 - 当社の企業活動について、さまざまなメディアを活用して発信しました。
- ▶ **原子力関連情報の公開・発信とコミュニケーション活動** P87
 - 原子力発電所の新規制基準への適合性確認のための対応や、川内原子力発電所1、2号機の運転状況について、積極的な情報発信を行いました。
 - 原子力発電所の安全対策等についてご理解いただくため、訪問活動や見学会など、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション活動を実施しました。
- ▶ **株主・投資家ニーズを踏まえたIR活動** P88
 - 株主・投資家向け説明会・訪問活動の実施による双方向コミュニケーションに加え、当社の経営状況に関する資料や財務情報などをホームページ上で公開しました。

2017年度の主な行動計画

- ▶ **コミュニケーション活動の推進**
 - 日常の企業活動やお客さまとの対話などを通じて、お客さまの声をお聴きする取り組みの充実に努めていきます。
- ▶ **情報公開の徹底**
 - お客さまの視点に立った迅速かつ積極的な情報公開に努めます。
- ▶ **積極的な情報発信**
 - テレビや新聞にとどまらず、ホームページ、Facebookなど、多様なメディアを活用して、わかりやすい情報発信に努めていきます。
- ▶ **原子力関係情報の公開・発信とコミュニケーション活動**
 - 原子力発電に対する地域の皆さまの安心感を高めていただくため、地域の皆さまの不安や疑問の声を丁寧にお聴きするコミュニケーション活動を充実させていきます。
 - 原子力災害時等の広報対応訓練を継続して実施し、マスメディア等を通じた迅速な情報発信など、広報対応の充実に努めます。
- ▶ **株主・投資家ニーズを踏まえたIR活動**
 - 株主・投資家からのニーズが高い経営層による説明会や面談を引き続き実施し、建設的な対話を行うとともに、ホームページ上の開示情報を拡充するなど積極的な情報発信を行うことで、株主・投資家の皆さまとのさらなる双方向コミュニケーションの充実に努めます。

コミュニケーション活動の推進

当社の企業活動についてご説明し、お客さまのご意見やご要望をお聴きするため、訪問活動、対話の会、出前講座など、地域の皆さまやお客さまとのさまざまなコミュニケーションの機会を活用したフェイス・トゥ・フェイスの対話活動を推進しています。



訪問活動

また、活動をより一層推進するため、地域のお客さま向けに事業所独自で説明資料を作成したり、対話推進チームを結成して活動するなど、積極的な取り組みを行っています。

(2016年度:約16万人の方々とのコミュニケーションを実施)



経営層によるお客さまとの対話の会

事業所オープンデー

地域のお客さまからの日ごろのご愛顧に感謝の気持ちをお伝えするため、九州各地の事業所で、さまざまなイベントをお楽しみいただく「事業所オープンデー」を開催しています。(2016年度:34回開催)

「高所作業車乗車体験」や「IH調理体験」などの電気に関するイベントのほか、熊本復興支援バザーや地元高校生によるミニライブなど、皆さまにお楽しみいただけるよう、工夫を凝らして実施しています。



事業所オープンデー

さまざまな機会を活用したコミュニケーション活動

訪問活動などのほかにも、さまざまな機会を活用したコミュニケーション活動を行っています。



出前授業



地域の皆さまとの協働イベント

情報公開の徹底

情報公開への基本姿勢

企業活動の透明性を高めていくことで、お客さまや地域社会のご理解と信頼をいただくため、情報公開の基本的な姿勢を示した「九州電力情報公開の心構え」を制定しています。

この心構えのもと、経営情報や発電所でのトラブル、原子力発電所の安全対策、企業PR等、企業活動全般の情報について、記者発表やホームページ、パンフレット等、さまざまな媒体を通して、積極的に公開・発信しています。

●九州電力情報公開の心構え

- 1 お客さまに対し、積極的に情報を公開しよう。
- 2 お客さまの気持ちに立って、わかりやすく、迅速、的確な情報公開を心掛けよう。
- 3 あらゆる機会を通じて、お客さまの情報ニーズを把握しよう。
- 4 お客さまとの間に意識・認識のズレが生じないように、常に自己点検しよう。

1999年4月制定
2017年4月改正

情報公開の推進に向けたグループ会社一体となった取組み

本店各本部に情報公開責任者を設置し、情報公開の推進体制を強化するとともに、情報発信計画を策定し、計画的・積極的な情報公開・発信に努めています。

また、事故の発生などお客さまや社会に影響を与える事象や、法令違反・企業倫理に反する行為などについても、迅速・的確な情報公開に努めています。

グループ会社においても情報公開の推進に取り組んでおり、グループ会社との連絡会議を適宜開催するなど、情報公開に対する意識の向上や情報共有を行っています。

●事故や法令違反等に関する情報公開実績

	2014年度	2015年度	2016年度
供給支障関係	36	22	9
原子力関係	1	1	3
設備トラブル	8	6	7
その他	1	3	5
合計	46	32	24

【主な内容】

- ヒューマンエラーによる供給支障事故
- 新小倉発電所3号機運転停止
- 電気料金の算定誤り



グループ広報担当者連絡会議

社長記者会見、記者発表を通じた情報公開・発信

当社の企業活動をご理解いただくため、社長記者会見や記者発表を通じて、情報公開・発信を行っています。

会見は、図表などを用いてわかりやすさを意識して行うとともに、会見時の動画をホームページに掲載しています。

また、当社事業に関する正確な報道につながるよう、報道機関を対象とした現場公開や見学会、説明会なども実施しています。

●記者会見や報道機関を対象とした取組みの実績

2016年度実績		
記者会見	8回	・社長記者会見 ・電気事業連合会での記者会見
記者発表	227件	—
現場公開 見学会 説明会	50回	・再生可能エネルギー系統接続に伴う配電線増強工事現場の現場公開 ・川内原子力発電所1号機定期検査に伴う燃料取出の公開 ・玄海原子力発電所施設見学会 ・新小倉発電所起動に関する勉強会



再生可能エネルギー系統接続に伴う配電線増強工事現場の現場公開
新小倉発電所起動に関する勉強会

テレビCM・WEB動画による情報発信

2017年3月から、電力の安定供給に取り組む社員一人ひとりの思いをお伝えするテレビCMや、WEB動画を放映・配信しています。



「みらいへの手紙(送配電篇)」

YouTube(KyudenChannel)でも発信していますので、是非ご覧ください。



「九電DNA篇」

公式Facebookによる情報発信

公式Facebookでは、設備点検・技術訓練など安定供給に向けた取組みや地域行事でのボランティア活動、ご家庭でできる省エネ方法や料理レシピなど、お客さま

の関心の高い情報を日々発信しています。

また、非常災害時には、停電発生状況や復旧作業の様子など、タイムリーに情報発信しています。



地域でのボランティア活動(世界遺産「三角西港」清掃活動)



調理時間の短縮で省エネにつながるワンポイントアドバイスなどを紹介する「省エネレシピ」シリーズ



熊本地震復旧作業(仮送電線ルート建設工事)

パンフレットによる情報発信

電気の安全な使い方や、節約につながる家電製品の上手な使い方など、お客さまの生活に役立つ情報を掲載したパンフレットを配布しています。

●パンフレットでの省エネ情報の発信 (CSRブックレット2017)

まずは、家電の省エネ。いろいろな工夫で、節約できるね!

電気を上手に使って、節約にチャレンジ!

省エネを積み重ねて、目標達成!

約5,000円/年の節約! ①～④まで

約10,000円/年の節約! ①～⑦まで

約20,000円/年の節約! ①～⑩まで

約40,000円/年の節約! ①～⑫まで

電気使用

1 使わないときはフタをしめる

年間約800円節約

電子レンジ

2 野菜の下ごしらえは電子レンジで

年間約1,300円節約

エアコン

3 運転が必要なときだけ

年間約1,400円節約

4 冷房は28℃、暖房は20℃を目安に

年間約1,900円節約

冷蔵庫

5 壁から適切な間隔で設置

年間約1,000円節約

6 設定温度は適切に

年間約1,400円節約

7 長時間使わないときはプラグを抜く

年間約2,400円節約

照明器具

8 LED照明に取替え

年間約2,000円節約

洗濯機

9 洗濯物はまとめて洗いを

年間約4,000円節約

電気カーペット

10 設定温度は低めに

年間約4,200円節約

衣類乾燥機

11 自然乾燥と併用

年間約9,000円節約

12 衣類もまとめて洗いで

年間約11,100円節約

一人ひとりの省エネが、地球環境保全に大きな効果をもたらします

消費電力の削減を1℃減らすだけで(年間)

消費電力 日本全体で約129億kWhの省エネ

CO2削減量 約735万トンの削減

※CO2の吸収量にすると約5.25億本分

「ブックレット」(省エネ)

九州電力とご契約いただけるお客さまへ

電気のご案内

でんき知っ得本

【保存版】

自分にピッタリの料金プランを選びたいな～!

P2 最適な料金プラン 簡単診断へGO!!

電気の契約手続きをしたいんだけど…

P16 電気ご使用開始のお申込手続きへGO!!

電気が消えちゃった!! もしかして停電??

P22 停電?と 逃したらへGO!!

Webで毎月の電気料金や使用量を知りたいワン!!

裏表紙「キレイライフプラス」のご案内へGO!!

九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。

料金プランのご案内
料金使用量の確認
お申込み手続き
電気ご使用時のお願い
停電に備えて
ご契約に関する重要事項

「でんき知っ得本」(安全な使い方)

原子力関連情報の公開・発信とコミュニケーション活動

原子力関連情報の公開・発信

原子力発電所の安全確保に向けた取組みや、発電所の運転状況に関する情報などについて、記者発表やホームページを通じて、迅速・的確に情報を公開・発信しています。

原子力発電所の安全対策等に関するコミュニケーション活動

福島第一原子力発電所事故を踏まえた

- 原子力規制委員会が策定した新規制基準への対応状況
- 更なる安全性・信頼性向上対策の実施状況

など、当社原子力発電所の安全対策について、お客さまや地域の皆さまにご理解いただくため、九州全域において、訪問活動や発電所見学会などのフェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション活動を実施しています。

今後も、あらゆる機会を捉えたコミュニケーション活動を行い、皆さまのご理解や信頼を得られるように努めていきます。

原子力情報の公開状況(2016年度実績)

1 2016年度の原子力関係記者発表件数: 53件

発表件名	件数
原子力発電所定期検査関連	6
原子力発電所の新規制基準への適合性確認の取組み関連	10
原子力発電所の新燃料・放射性廃棄物等の輸送関連	1
訴訟関連	21
その他(川内特別点検、玄海1号廃止措置計画 他)	15

2 当社ホームページへの掲載内容

- 原子力発電所の概要
- 原子力発電所の運転状況、定期検査状況
- 原子力発電所のトラブル情報
- リアルタイムデータ(発電機出力、放射線データ)
- 原子力発電所の安全確保に向けた取組みについて
- 原子力情報(お知らせ)

3 原子力情報公開コーナー

玄海エネルギーパーク及び川内原子力発電所展示館等に設置された「原子力情報公開コーナー」では、当社の原子力発電所に関するさまざまな情報を公開しています。

【公開資料(例)】

- 当社原子力関係公表文
- 安全協定
- 原子炉設置(変更)許可申請書
- トラブル報告書
- 定期安全レビュー報告書
- 原子炉施設保安規定
- 高経年化技術評価書
- 耐震安全性評価結果
- 原子力発電所データ集
- 原子力事業者防災業務計画

TOPICS

玄海原子力発電所周辺地域の全戸訪問活動

玄海原子力発電所3、4号機については、2017年1月18日、原子力規制委員会より、新規制基準への適合性に係る原子炉設置変更の許可をいただきました。

当社では、玄海原子力発電所の安全対策や新規制基準への適合性審査の結果等に関して、フェイス・トゥ・フェ

イスで丁寧にご説明するとともに、地域の皆さまの声をお聴きすることを目的として、2月8日から19日までの12日間、玄海町及び隣接する唐津市の鎮西町、肥前町、呼子町の全戸(約7,500戸)を、当社社員が訪問し、玄海原子力発電所の安全対策等についてご説明をさせていただきました。



株主・投資家ニーズを踏まえたIR活動

株主・投資家の皆さまとの双方向コミュニケーションの充実により、信頼関係の構築と満足度向上を図るため、「IR基本方針」を定め、さまざまなIR活動を推進しています。

各種説明会や訪問活動を実施し、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションを図るとともに、ホームページに説明会時の資料やIRツール、財務情報、株式情報などを公開し、積極的かつわかりやすい情報発信に努めています。

さらに、株主総会においては、

- ・インターネットによる議決権行使の仕組みの導入
- ・招集通知発送前のホームページへの掲載
- ・事業報告のビジュアル化

を行うなど、株主の皆さまの視点に立った参加しやすくわかりやすい総会の運営に努めています。

ホームページ

企業・IR情報→株主・投資家の皆さま

〔IRに関するお問い合わせは、ホームページ「株主・投資家の皆さま」内「IRお問い合わせ」にて受け付けています。〕

●主なIR活動

対象	内容
アナリスト 機関投資家	・経営概況説明会 ・国内・海外機関投資家訪問 ・IR関連情報のホームページへの掲載
個人投資家	・個人投資家説明会 ・各種媒体を通じた株主・投資家への情報発信

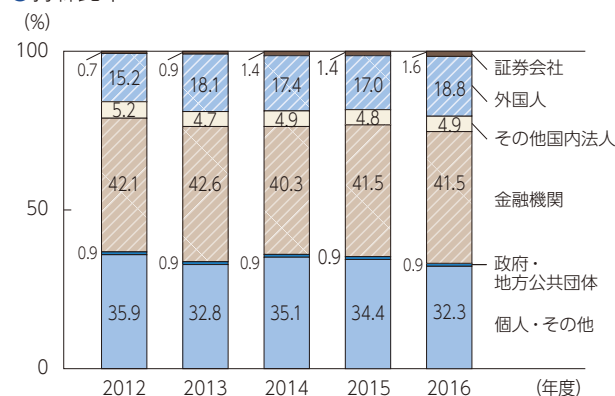


経営概況説明会



個人投資家説明会

●持株比率



IR基本方針

基本姿勢

- ◆当社は、経営品質を高め、企業価値の持続的向上を図ることによって、株主・投資家の皆さまの満足度の向上に努めます。
- ◆積極的な情報開示や双方向のコミュニケーションを継続的に実施することにより、資本市場から適正に評価していただくとともに、株主・投資家の皆さまとの信頼関係を構築します。

行動指針

- ◆適時・的確かつ積極的に伝えます — 透明性の高い情報開示 —
 - 法令を遵守し、適時・的確に開示します。
 - 投資判断に必要な会社情報を積極的かつわかりやすく開示します。
 - 開示情報へのアクセス機会の公平性を確保します。
- ◆皆さまの意見を適切に活かします — 双方向コミュニケーションの重視 —
 - 当社からの情報開示だけでなく、株主・投資家の皆さまとの双方向のコミュニケーションを重視します。
 - 株主・投資家の皆さまからのご意見やご要望を社内にフィードバックし、業務運営に適切に反映させていきます。
- ◆全社一丸となって取り組みます — 組織的なIR活動の実践 —
 - IRは、経営の重要事項の一つであると認識し、経営トップのリーダーシップのもと、全社一丸となった活動を展開します。
 - 効果的な双方向コミュニケーションの前提となる全社IR意識の向上に努めます。

2006年7月制定